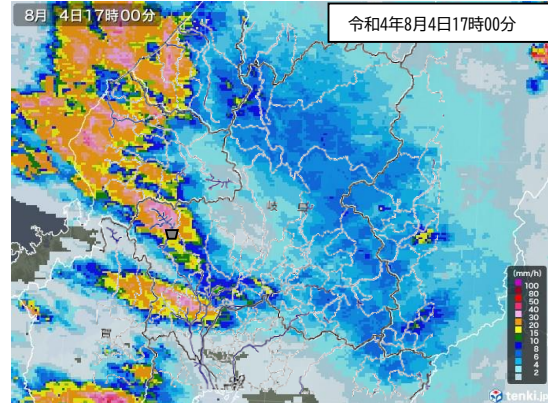
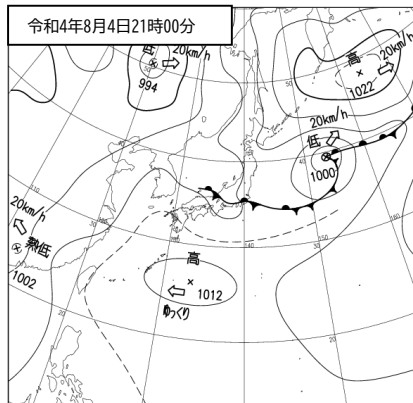
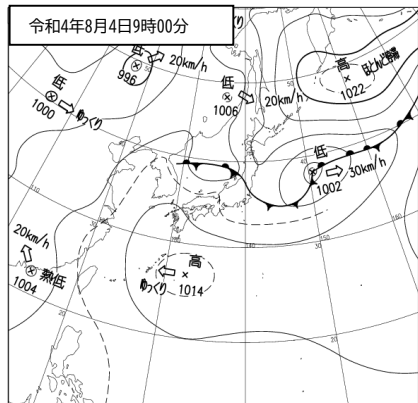
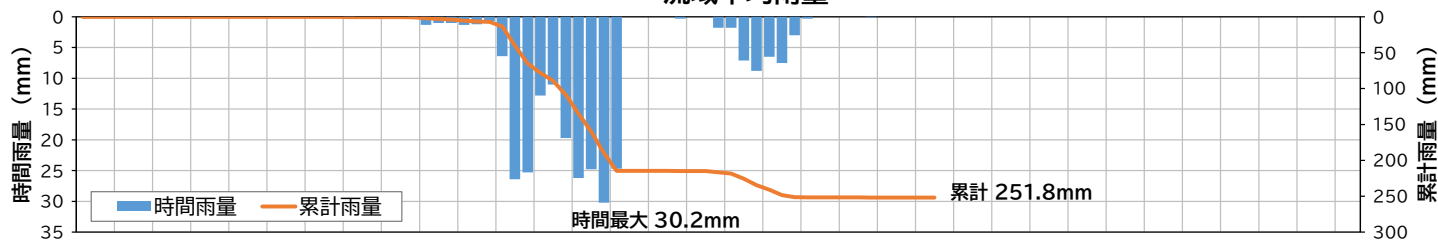


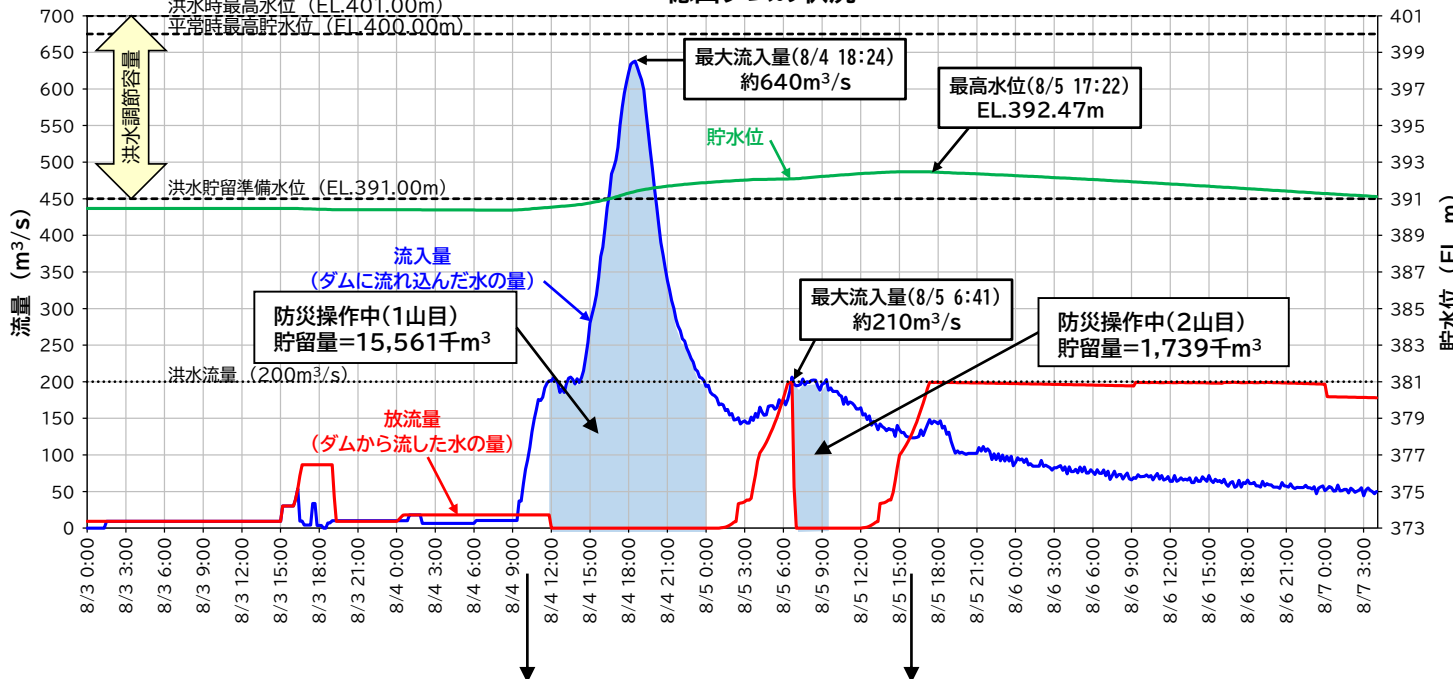
- 日本海から北陸地方を通して日本の東にのびた前線が、オホーツク海高気圧に押し下げられて4日夜から5日にかけて南下し、太平洋高気圧の縁をとった大量の水蒸気が前線上に供給されたことにより、8月4日朝から8月5日朝にかけて断続的に雷を伴った強い降雨となり、ダム流域平均総雨量は251.8mmを観測した。
- 特に8月4日朝から夕方にかけて徳山ダム流域付近を南下する形で強い雷雨を伴う雨雲が通過したことにより、8月4日9時から18時にかけてまとまった降雨を観測し、徳山ダムへの流入量が11時42分に洪水量に達したため、放流量をゼロにし全量を貯留する防災操作（洪水調節）を実施した。
- この間、8月4日16時から17時にかけて流域平均で最大時間雨量30.2mmの降雨を観測した。
- 雨は8月4日夕方から8月5日未明にかけて小康状態となり、ダム流入量は23時53分に洪水量を下回ったが、8月5日明け方から朝には再度強い降雨となり、6時36分にはダム流入量が再び洪水量に達したため、放流量をゼロにし全量を貯留する防災操作（洪水調節）を実施した。



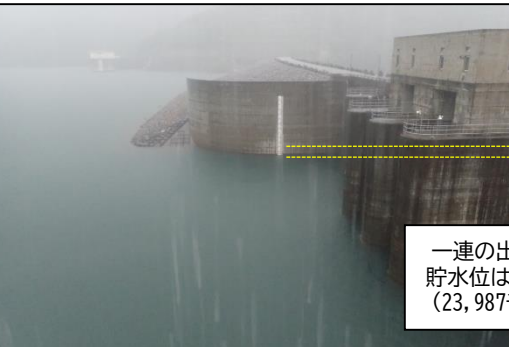
流域平均雨量



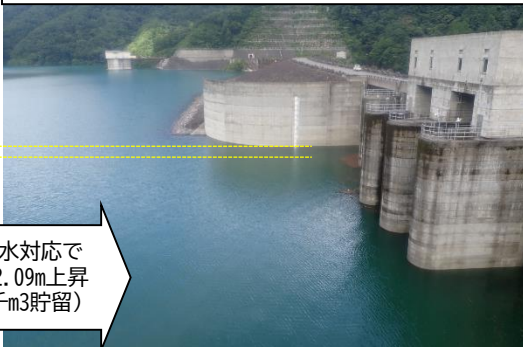
徳山ダムの状況



8月4日9時20分頃 貯水位：390.38m



8月5日15時30分頃 貯水位：392.47m



8月5日6時頃 常用洪水吐ゲート放流



一連の出水対応で
貯水位は2.09m上昇
(23,987千m³貯留)